



平成30年度

事業計画書



社会福祉法人草津市社会福祉協議会

目 次

1. 基本方針	2
2. 重点事業	3
3. 事業計画	4～12
(1) 地域福祉活動の周知・啓発	4
(2) 地域福祉力の向上	5～6
(3) ボランティア活動の充実と 住民参加の仕組みづくり	7～8
(4) 住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり	8～9
(5) 個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり	9～12
(6) 第3次草津市地域福祉活動計画の体系図	12

この事業計画書は、第3次地域福祉活動計画（H29～H33）の進捗・評価の観点から、活動計画の推進項目と整合性を持たせた構成としました。

1. 基本方針

国においては、人口減少と少子高齢化、核家族化、単身世帯の増加が進む中、今後の地域づくりを進めるため、平成25年8月に、国の社会保障制度改革国民会議において「21世紀日本モデル」を提唱し、すべての世代を対象とした相互の支えあいの仕組み、地域づくりとして、医療・介護・福祉・子育てという「21世紀型のコミュニティの再生」を打ち出しました。

その後、平成27年9月に厚生労働省が「全世代・全対象型地域包括支援体制」という新しい福祉の提供ビジョンを発表し、高齢者を対象にした地域包括ケアの考え方を「深化」させ、すべての地域住民を包括して、地域による支えあい体制を構築していくというものでした。

平成28年6月には「一億総活躍プラン」が閣議決定され、「安心につながる社会保障」として地域共生社会の実現が位置づけられ、同年7月に厚生労働大臣を本部長とする「我が事・丸ごと」地域共生社会実現本部が設置されました。

「我が事・丸ごと」地域共生社会の構築に向けた取り組みは、住民が主体的に地域課題を把握して、解決を試みる体制づくりを推進することとされています。このことは、住民主体の福祉のまちづくり活動を推進してきた社協活動そのものであり、今一度、社協活動の原点、地域の生活課題に気づく機会をつくり、できることから活動を始める時期ではないかと考えております。

一方、草津市では、5年連続して住み良さランキング関西ブロック1位の都市として、子育て世代を中心に、転入による人口増加が続いておりますが、高齢化は着実に進行しています。

高齢化率は平成29年度に21.5%ではあるものの、小学校区ごとに見てみると、16.6%から30.1%とばらつきがあり、全国的に7人に一人と言われる経済的に困窮する家庭の子どもも目立ち始める等、小学校区ごとに地域特性のある新たな生活課題や地域課題が出てきています。

このような中、平成30年度は、第3次地域福祉活動計画（5カ年計画）の2年目であり、平成29年度に手がけた新たな取り組みをより一層推進するとともに、協働のまちづくりの中間支援組織としての機能を発揮し、地域の課題や特性を住民の皆様とともに整理し、共有し、課題解決に向けた住民主体の地域福祉活動のより一層の推進を図り、地域支えあい活動の取り組みの強化に努めます。

また、生活福祉資金等の貸付や地域福祉権利擁護事業等、個別援助活動の充実に努めます。

これらの活動にかかる財源である会費や寄附金、共同募金は年々微減傾向にありますことから、既存事業の経費見直しを行うとともに、限られた財源を有効に活用し、住民主体の地域福祉推進の伴走者として市社協活動を展開します。

さらには、市社協・学区社協が今日まで取り組んできた社協活動の総合力の向上に努めるため、まちづくり協議会や各種団体・関係福祉機関、行政等との連携を強化し、「こころ温かく支えあい 住みつづきたい福祉のまち・くさつ」の実現に向け積極的な事業推進に努めます。

2. 重点事業

①地域福祉活動推進支援

- ・市委託の生活支援体制整備事業を受託し、地域の支えあい活動を推進します。
- ・医療福祉を考える会議等、地域共生社会づくりの協議の場を全学区に展開します。
(地域ごとに開催目的を明確にし、行政、地域包括と連携し丁寧に会議を進めます)
- ・民間の助成金制度の活用を促し、地域の福祉活動を応援します。
- ・フードバンク事業を活用し、食をテーマとする地域づくりを応援します。
- ・善意銀行を有効に機能させ、地域福祉活動を応援する財源の確保に努めます。

②ボランティアセンターの機能強化

- ・ボランティア活動者10,000人(センター登録者数)を目指し、センター活動の強化に努めます。
- ・センターのマッチング機能の強化を図るため、住民や施設等へ情報提供を行います。
(派遣に際しては、丁寧な打合せとボランティアの研修を行います)
- ・地域の福祉委員や個人ボランティアの育成に努めるとともに、ボランティアグループの立ち上げを支援します。
- ・継続は力なり。引き続き第7回ボランティアフェスティバルを開催する等、ボランティア活動者の交流と活動の場づくりに努めます。
- ・災害ボランティアセンターの運営協力者を増やすため、行政等との連携強化を図ります。

③身近な居場所づくりの推進

- ・地域サロンとく・得バスツアーや交流会を開催し、交流を通じて担い手間の情報交換や活動のメリハリづくりに努めます。
- ・地域サロンに出向き、相談や困りごとのニーズ聞き取りを行い、新たな支えあい活動を検討します。
- ・地域サロンを立ち上げようと思っている町内会に出張地域サロンを開催し、立上支援に努めます。
- ・多世代が交流できる居場所づくり事業を支援します。
(地域のふれあいの場づくり事業や民間助成制度の活用を支援します)

3. 事業計画

(1) 地域福祉活動の周知・啓発

見える社協、魅せる社協活動をめざして広報し、住民への啓発を行い、地域の福祉力アップを図ります。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
市社協広報紙「社協くさつ」発行	市社協事業、ボランティア活動や住民の福祉活動に着目した市社協広報紙「社協くさつ」を年4回発行し、福祉の風土づくりを進めます。 また、毎号賛助会員へ送付します。	1,837 320	会費 共募
市社協ホームページ運営	毎月ホームページの閲覧状況を把握し、より利用しやすいホームページを目指した改善を行います。 トピックスを随時更新し、市社協の活動について発信していきます。 ふれあいハウス絆、立ち寄りカフェゆかい家のページについて、各学区と協議しながら内容を充実させ、住民に身近なホームページをめざします。	324	会費
社会福祉功労者等表彰式典	長年活躍されている地域福祉活動者やボランティア活動者の功績を称え表彰します。また、社会福祉の向上のため寄附された個人や団体に感謝の意を表します。	291	会費
近所力アップ講座	地域に職員が出向き、より身近な福祉の専門職として、住民同士の日頃からのつながりの大切さを伝え、住民のみなさまとともに地域福祉活動の大切さを語りあいます。	5	会費
「パワフル交流・市民の日」への協力	市コミュニティ事業団が実施する「パワフル交流・市民の日」に移動ボランティアセンターとして参加することで、福祉活動やボランティア活動を市民に広く啓発し、市民が福祉について身近にふれられるようなきっかけづくりをします。	-	-
市社協キャラクター「ふくちゃん」啓発	地域の各イベントへの着ぐるみ「ふくちゃん」の貸し出しやグッズの販売を積極的に行い、市社協事業の啓発につなげます。また、着ぐるみの修繕とクリーニングを行います。	76	会費
「広報くさつ」点字版作成・配付	視覚障害者への支援として、「広報くさつ」点字版の配付を希望される人に毎月1日号を点訳し配付します。	268	市受託
社会を明るくする運動	地域住民の犯罪防止と更生保護に対する一層の理解を深めるため、関係機関・団体・学校と一体となって運動を展開します。	110	市受託

(2) 地域福祉力の向上

地域福祉力の向上と住民主体の地域福祉活動の発展のため、その基礎となる人づくり、またその人を支援する体制をつくります。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
福祉活動推進員育成 (市民コーディネーター育成)	「心に訴え、誰もが聞いてみたい斬新なテーマ」の講座としてリニューアルします。多くの市民が受講することを願い、地域の担い手不足と言われている現状を打破するべく裾野を広げることを目的とします。 この講座は、受講した方々がボランティア活動への思いを固めていただき、一步を踏み出して、地域の福祉活動の中心的役割を担っていただくための人づくりとして実施します。 そのためには、今まで福祉に興味がなかった市民に来ていただけるような幅広い分野の講師に講演いただき、今までの「福祉活動推進員育成講座」という名称を「草津市福祉教養大学」として全5講座とレポート提出を実施します。	316 150	市補助 ボラ基金
福祉委員設置促進	「福祉委員の手引き」を更新し、学区社協との協働による学習会等を開催することで、福祉委員活動が活発に行われるよう支援します。	10	会費
介護予防サポーターポイント制度事業	元気な高齢者の社会参加といきがづくりについて、市と連携しながら支援していきます。	2,816	市受託
地域サロン活動支援	高齢者の見守り活動の推進や、介護予防と自立を促進するため、サロン活動を行う者を育成するとともに、様々な相談に応じる地域サロン支援員を配置し、サロン活動の拡充をめざします。また、新たに立ち上げを検討している町内会には、地域サロンの運営ノウハウなどの情報提供や模擬サロンの開催等で支援します。	9,978	市補助
地域サロン交流会	地域サロンの横のつながりをつくるため、意見交換や情報交換を行い、地域サロン活動の継続と活性化につなげます。	70 60	市補助 ボラ基金
とく・得バスツアー	バスツアーを実施し、外出機会を増やす支援を行い、地域サロン活動の充実と活性化を図ります。	183 335	市補助 ボラ基金
地域支え合い運送支援	学区社協やまちづくり協議会が実施する移動困難者の運送支援事業を支援し、住民が主体的に取り組む支え合い活動が広がるよう支援していきます。 今年度は志津南・山田学区が事業開始から5年目であり、さらに今年度から老上・老上西学区が合同実施するため、活動が継続していくようサポートします。	2,422	市補助

福祉車両貸出	外出が困難な高齢者や障害者のため、福祉車両を貸出します。また、必要に応じて送迎ボランティアとの受給調整も行います。 送迎ボランティアに安全講習を行い、安全運転の周知に努めます。	1,004	会費
高齢者への電話訪問	65歳以上のひとり暮らし高齢者や昼間独居高齢者に対し、傾聴ボランティアが電話訪問することで孤立・孤独を防ぎます。また、傾聴ボランティア養成講座を開催し、傾聴ボランティアの増員に努めます。	132	善銀
草津フードバンクセンター設置	生活に困窮している世帯や住民同士の支え合い活動を実施する団体に対して、食品のニーズを正確に把握し、草津フードバンクセンターに集まった食糧を無償で提供し、地域福祉活動推進の一助とします。また、企業や個人にとっては、本事業への協力が社会貢献や地域福祉活動への参加・協力になるという積極的な広報活動を展開し、市民の協力を得られるようにしながら善意の循環システムを構築します。	67 68	市補助 善銀
地域のふれあいの場づくり助成	学区社協を対象に、すべての人が住み慣れた地域で安心して暮らしつづけられるよう、新たな地域福祉活動の立ち上げ、そして既存の地域福祉活動の拡大・拡充を支援します。	300	ボラ基金
寝たきり・認知症予防助成	市老人クラブ連合会が実施する介護予防事業を支援します。	72	共募
障害児者介護者リフレッシュ支援	肢体不自由児者父母の会が中心となり実施する障害児者の家族の心身リフレッシュと介護者同士の交流・情報交換を支援します。	40	共募
知的障害者社会参加自立支援	草津手をつなぐ育成会が中心となり実施する共同作業所等で働く知的障害者の社会参加を促す交流や余暇活動を支援します。	40	共募
視覚障害児者支援	草津点字グループあゆみ会に情報紙の点訳を依頼し、視覚障害者への情報提供を行います。	5	共募
中途視覚障害者支援	市視覚障害者協会が実施する外出歩行訓練や交流会事業等を支援します。	8	共募
いきいきふれあい大運動会助成	市心身障害児者連絡協議会が実施する「いきいきふれあい大運動会」事業を支援します。	40	共募
子ども福祉活動助成	市子ども会指導者連絡協議会が実施する「6年生リーダー養成講座」を支援します。	53	共募
福祉機器リサイクル(貸出事業)	不要になった福祉機器のリサイクルを促進するとともに、車いす等の福祉機器を6カ月を限度に貸出します。	112	市受託

(3) ボランティア活動の充実と住民参加の仕組みづくり

住民どうしがふれあい、いきいきと楽しく活動するボランティアの輪を広め、絆をつむぐことができる地域をつくりまします。

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
ボランティアフェスティバル	多世代がボランティア活動に参加するきっかけづくりや、活動者同士のつながりづくり、そして社協活動を魅力的に広く市民へ伝えることを目的として、子どもから高齢者までが楽しく交流できる第7回のフェスティバルを実施します。	548 450 70	会費 市補助 ボラ基金
災害ボランティアセンター	災害時における効果的なボランティア活動を推進するためマニュアルを更新し、それを元に運営訓練を実施し、災害対応力の向上に努めます。 また、市をはじめ災害ボランティアセンター運営協議会構成団体との連携を平常時から深め、災害時の連携がスムーズになるよう努めます。 今年度はこれまでの訓練の成果を踏まえ、センター運営に係る各種様式を更新します。	61 61	会費 市補助
移動ボランティアセンター	ボランティアの発掘、啓発を行うため、市民に近い場所にボランティアセンターを設置します。 各学区のイベント開催の情報を得た際には、移動ボランティアセンターを実施させてもらえるよう、こちらから働きかけていきます。 また、学区・市社協の広報紙や、ホームページで周知・啓発を行います。	5	ボラ基金
収集ボランティア啓発	福祉に役立つ身近なボランティア活動である収集ボランティアを広めるため、裏面が封筒になるペーパークラフト仕様の啓発チラシを福祉教育やイベント時に配布します。また、地域や学校等へ啓発パネルを貸出し、周知・啓発を行います。	4	ボラ基金
福祉教育の推進・ボランティア体験教室	ボランティア活動や地域福祉活動の理解を広げるため、ボランティア体験教室を行います。また、子どもたちの福祉への理解をすすめる、学びを支援するために、福祉学習機材の貸出やボランティア派遣を行います。	11	ボラ基金
ボランティアグループリスト作成	ボランティア・地域サロングループリストを作成し、ボランティア団体の紹介と活動場所の拡大、地域サロンへの参加者増による活動の活性化を図ります。	30	ボラ基金
市ボランティア連絡協議会助成	ボランティアグループの横のつながりを強化し活動を広げるため、ボランティア連絡協議会活動を支援します。	48	共募

ボランティア保険・ボランティア連協加入促進	ボランティア活動保険の一部助成によりボランティア連絡協議会の加入を促進します。	70	ボラ基金
ボランティア団体活動助成	ボランティア活動の充実を図るため、ボランティアセンターに登録されたボランティアグループに活動助成を行います。	550	ボラ基金
ボランティア養成講座	今年度は高齢者電話訪問事業の「傾聴ボランティア」を養成する講座を開催します。	高齢者電話訪問事業にて計上	
ふれあい基金活動助成	県社協のふれあい基金助成事業を活用し、ボランティア活動の充実を図ります。	600	県社協補助

(4) 住み慣れた地域で安心して暮らせる体制づくり

- ① 学区社協活動をはじめとした地域福祉活動支援
- ② 小地域福祉活動における民生委員・児童委員との連携
- ③ ボランティアセンターの機能強化

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
学区社協会長会	学区社協会長の情報交換や福祉でまちづくりを推進する会議を年10回程度開催します。また、各学区の特徴や学区社協の活動状況をまとめた学区社協便覧を作成し、学区社協活動を啓発・支援します。さらに、他学区との交流を通じて、自分たちの学区社協活動の魅力を再発見できるような機会を設けます。	505	会費
地域福祉活動助成 学区社協運営支援	地域の支えあい活動を推進するため「福祉の土壌づくり」「活動の担い手づくり」「個別援助活動」「地域福祉関係者との交流」を進める学区社協を支援します。	3,640 1,050 1,863	共募 ボラ基金 会費
地域福祉コーディネーターによる学区社協支援	学区担当制を敷き、学区社協とともに各学区の地域課題を把握し、課題解決へ向けた地域福祉活動の推進を図ります。また、研修会等を通し、職員の地域福祉コーディネーターとしての資質の向上に努めます。	42,512 1,424	市補助 自主
地域福祉活動推進の支援強化	草津市地域福祉活動計画策定委員会を開催し、第3次草津市地域福祉活動計画の進捗確認の場として、今後の草津市での地域福祉の推進のあり方・市社協のさらなる事業展開等を検討します。 さらに、すべての学区社協で懇談会を実施し、学区の声や特徴をとらえた支援ができるよう努めます。	198 197	会費 市補助
草津市民生委員児童委員協議会事務局	事務局担当の職員を配置し、毎月1回、総務会、必要に応じ総務委員会を開催します。また、5部会2委員会1連絡会をはじめとした民児協活動が活発に機能するように支援します。	別途	別途

	さらに、学区担当制による情報提供やアドバイスを行い、個別援助活動が円滑にできるよう民生委員児童委員活動を支援・協力します。		
歳末たすけあい見舞金等の配付	市内の準要保護世帯に、民生委員・児童委員と協力して見舞金を配付します。障害者福祉施設、団体等へ見舞金を配付します。 また、歳末時期に子ども等を対象にした事業を行う歳末子ども支援事業等に対して、支援金の支給を行います。 さらに、一時的に支援が必要な世帯には緊急的な支援として食糧を支給します。	6,500	共募
ボランティアセンターの運営と機能強化	ボランティアセンターの機能を強化し、多様なボランティアや市民活動のコーディネートを図り、ボランティアの振興に努めます。 今年度は市民に「発信する」ということに重点を置き、ボランティア募集のチラシを作成し、個人ボランティアに活動してもらえる機会づくりをします。また、「ボランティア1万人」を周知するためにポスター・チラシを作成します。ボランティアを増やすために、ボランティアの「見学」、「体験」ができる機会を作り調整をします。 はじめて活動する人の不安を軽減し、依頼側にも安心して受け入れてもらえるよう、はじめてのボランティア説明会を実施し、ボランティア活動における大切なポイントを伝え、活動への参加・継続を支援します。	953	ボラ基金

(5) 個別援助活動の充実と市社協の基盤づくり

- ① 地域福祉権利擁護事業の充実
- ② 心配ごと相談・貸付事業の充実
- ③ 行政・専門機関、福祉専門職との連携強化
- ④ 役員体制と事務局体制の強化
- ⑤ 地域福祉活動推進に要する財源確保

(単位：千円)

事業・項目	内容	予算	財源
地域福祉権利擁護事業の推進	判断能力が充分でないため、毎日の暮らしのなかで福祉サービスの利用手続きや日常のお金の管理が不安な人が、地域で安心して生活を送れるように支援する地域福祉権利擁護事業の充実に努めます。 また、事業の周知啓発に努めるとともに、生活支援員のスキルアップのための研修会を開催します。	513 908 287 2,405	会費 自主 市補助 県社協補助

心配ごと相談所開設と 相談員連絡会の開催	住民の皆さんの身近なくらしのなんでも相談窓口として「心配ごと相談所」を開設します。また、市社協広報紙「社協くさつ」等で周知に努めます。 さらに相談員どうしの情報交換を目的とした連絡会を開催し、スキルアップのための研修会も実施します。	893 830	会費 市補助
生活つなぎ資金貸付	一時的に生活困難に陥った世帯に生活のつなぎとして資金を貸付し、健康で安心できる生活の維持と自立の助長を図ります。	2,483	善銀
生活福祉資金貸付	経済的に困っている人に県社協の生活福祉資金の貸付相談や貸付手続きを行います。 また、民生委員・児童委員が実施する生活福祉資金貸付者に対する償還指導についても支援していきます。	2,657	県受託
社会福祉推進連絡会議	草津市の地域福祉の充実に取り組むため、市の関係機関と情報や意見交換等を行います。	-	-
生活支援体制整備事業 (地域支えあい推進員による 学区支援)	地域における包括的な支え合い活動を推進するため、多様な活動団体・事業者等が連携・協議し、様々な日常生活上の支援体制づくりを進めるとともに、高齢者の社会参加の推進を図ります。 特に行政・地域包括支援センター・市社協が密に連携し、学区医療福祉を考える会議が継続・設置できるように支援をしていきます。	20,462	市受託
各種事業推進に係る関係機関 との連携強化	貸付事業利用者や地域福祉権利擁護事業利用者等、暮らしに様々な困りごとを抱えた人たちを継続的に支援していくため、市くらしのサポートセンターや地域包括支援センター等の支援機関との連携強化を図ります。	-	-
第三者委員会の設置	市社協が実施する事業の信頼及び適正な事業実施を図るため、苦情解決の第三者委員会を設置します。	5	自主
役員会の開催ならびに研修会 の開催	法人運営の方針を決定する理事会を開催し、役員体制の強化および透明性のある組織運営を図ります。 また、役員・評議員等を対象に地域福祉研修会を実施します。	846	自主
職員研修、職員会議の開催	人権意識の向上や地域福祉コーディネート力のスキルアップを目的に研修を実施します。また、事業の進捗状況を毎月確認しつつ草津市の地域福祉活動の展開や社会福祉の動向等を意見交換する場をつくり、職員同士の連携を図ります。	70	自主
地球温暖化防止推進	省エネに取り組み、ゴーヤカーテンをつくり、エコ意識を高めるとともに、夏季の空調設備費用を抑える等、エコロジーとエコノミーの両立の取り組みを行います。また、ウォームビズへの取り組みに努めます。	6	自主

事業・項目	内容	収入予算	財源
市社協会費の拡大	<p>福祉でまちづくりに参画する仕組みである社協会員制度の理解を広げる取り組みをすすめます。</p> <p>今年度については、賛助会員ならではの特典を用意し、賛助会員の魅力を伝えます。</p> <p>既存の賛助会員の中から福祉に関する取り組みをされているところへふくちゃんとともにインタビューし、市社協広報紙「社協くさつ」へ掲載して自社PRとしてもらいます。</p> <p>○一般会費 … 学区社協と連携し、世帯を単位にした社協への参画を促進します。</p> <p>○賛助会費 … 学区社協と連携し、企業を単位にした社協への参画を促進します。なお、賛助会費の内55%を学区社協へ助成します。</p>	8,128	会費
「社協くさつ」「ホームページ」有料広告の拡大	市社協広報紙「社協くさつ」およびホームページのバナー広告掲載枠、掲載料を見直し、積極的に募集を行うことで財源確保に努めます。	209	自主
善意銀行事業	生活つなぎ資金の貸付、高齢者への電話訪問事業、子どもの居場所づくり等地域福祉活動への支援を行うフードバンクセンター事業等の善意銀行事業について、広報紙やホームページだけでなく地域事業に出向く際にも啓発を行い、地域福祉活動を応援する財源として市民の善意の寄附金を積極的に募集するとともに有効に活用します。	100	善銀
入れ歯リサイクル	地域福祉活動の財源確保のために、不要になった入れ歯をリサイクルし収益を得ます。 また、広報等で周知・啓発を行います。	10	自主
ボランティア基金の運用、寄附金の募集	ボランティアセンターの運営ならびに多様なボランティアや地域福祉活動の振興に努めるための寄附金の募集に努めます。過去にご寄附をいただいた継続寄附者ではない個人・団体(平均14件/年)へ税額控除の優遇措置の案内と寄附の依頼状を送付するとともに、基金を有効に運用し、財源の確保に努めます。	1,562	ボラ基金
共同募金(赤い羽根・歳末たすけあい)運動の推進	民間福祉事業の振興を図るために10月1日から12月31日まで、全国的に展開される「赤い羽根共同募金運動」を推進します。	別途 (市共同募金委員会)	別途 (市共同募金委員会)
赤十字事業の推進 (日本赤十字社滋賀県支部草津市地区事務局)	日本赤十字社の会員募集や赤十字活動の普及を図り、赤十字の活動を支える草津市赤十字奉仕団の活動を支援します。	別途	別途

社会福祉援助技術現場実習	社会福祉の専門家をめざす学生に、人材育成の一環として社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の場を提供します。	-	-
--------------	--	---	---

(6) 第3次草津市地域福祉活動計画の体系図

